

# 駅・営業

## 駅

駅を快適な空間として、お客さまに気持ちよくご利用いただくために、さまざまな改善を行っています。

## 自動改札の導入

### ●自動改札導入のあゆみ

1990. 4	首都圏に新型の在来線自動改札システムを導入
1991. 3	ストアードフェアシステム(イオカード直接投入可能)を採用
1997. 10	新幹線自動改札システムを導入開始
2001. 11	首都圏在来線にICカード(Suica)出改札システムを導入
2002. 12	仙台エリアに在来線自動改札システムを導入

## 駅数

(2012年3月31日現在)

駅数	1,689駅(貨物駅5含む)
----	----------------

## 自動改札導入状況

(2012年3月31日現在)

◇在来線	◇新幹線
●自動改札導入駅数 520駅 690改札口	●自動改札導入駅数 41駅 66改札口
●自動改札通路数 4,052通路	●自動改札通路数 254通路
●自動精算機台数 980台	●自動精算機台数 17台

## 活性化駅一覧

(2012年3月31日現在)

駅名	線区名	竣工年月	合 築 施 設
穂 高	大糸線	1988. 1	アートギャラリー
八 積	外房線	1988. 9	公民館 図書館
大 白	只見線	1988. 12	総合観光案内所 レストラン
院 内	奥羽本線	1989. 3	郷土資料館 コミュニティホール
ほっとゆだ	北上線	1989. 3	温泉会館 コンビニエンスストア
ゆだ高原	北上線	1990. 3	公民館
船 岡	東北本線	1990. 8	コミュニティプラザ ガラリー
刈 和	奥羽本線	1990. 10	コミュニティセンター 商工会館
上 小	水郡線	1990. 12	集会所 図書館
越 後	米坂線	1991. 2	ふるさと会館
福 生	青梅線	1991. 3	ギャラリー
岩 沢	北上線	1991. 3	集会所
塩 川	磐越西線	1991. 3	コミュニティホール 集会所
神 俣	磐越東線	1991. 5	観光案内所 コミュニティルーム
鳴子温泉	陸羽東線	1991. 12	円形劇場 観光案内センター
下 野	宮水郡線	1992. 2	集会施設
須 賀	川東北線	1992. 3	観光物産館
木 造	五能線	1992. 5	コミュニティプラザ 観光案内所
天 童	奥羽本線	1992. 9	観光物産館
高 畠	奥羽本線	1992. 10	公衆浴場
かみのやま温泉	奥羽本線	1992. 10	コミュニティプラザ
上 野	磐越西線	1992. 12	農協
舟 形	奥羽本線	1993. 3	物産館 診療所
水 郷	成田線	1993. 5	コミュニティセンター
布 佐	成田線	1993. 7	集会施設
赤 湯	奥羽本線	1993. 8	観光物産センター
山 方	宿水郡線	1993. 9	集会所 図書館
磐 城	塙水郡線	1993. 10	図書館 物産コーナー
米 沢	奥羽本線	1993. 11	観光案内センター 物産展示コーナー
桑 川	羽越本線	1993. 11	観光物産センター ガラリー レストラン
東 海	磐 線	1993. 12	多目的ホール ガラリー
戸狩野沢温泉	飯山線	1993. 12	観光案内所
三 春	磐越東線	1994. 3	イベントスペース 物産館
西 金	水郡線	1995. 2	集会所
富 浦	内房線	1995. 3	コミュニティ施設
津 南	飯山線	1995. 3	温泉コミュニティセンター
大谷海岸	気仙沼線	1995. 10	物産館 アクアリウム
鹿 渡	奥羽本線	1995. 10	観光物産情報館 ミニシアター
矢 吹	東北本線	1995. 10	コミュニティプラザ
和 田	浦内房線	1995. 12	ギャラリー
羽 前	樺米坂線	1995. 12	農協
八 幡	宿内房線	1995. 12	ギャラリー
野 蒜	仙石線	1996. 3	インフォメーションセンター
玉 川	村水郡線	1996. 3	町事務室 多目的ホール
相 野	々北上線	1996. 6	コミュニティ施設
野 木	沢水郡線	1996. 9	農協

駅名	線区名	竣工年月	合 築 施 設
津 軽	二股津軽線	1996. 12	観光情報センター
岩 井	内房線	1997. 3	展示室
田 沢	湖田沢湖線	1997. 3	観光情報センター
栗 石	田沢湖線	1997. 3	観光案内センター 図書館
磯 原	常磐線	1997. 8	市出張所 コミュニティホール
佐 久	平長野新幹線	1997. 9	観光案内所 物産店
飯 岡	総武本線	1997. 10	イベントホール
大 曲	奥羽本線	1997. 12	インフォメーションホール
常 陸	鴻巣水郡線	1998. 3	集会所 オープンギャラリー
金 浦	羽越本線	1998. 3	コミュニティホール 図書館
双 葉	常磐線	1998. 8	コミュニティホール アートギャラリー
下 総	神崎成田線	1998. 10	展示室
陸 奥	鶴田五能線	1999. 2	コミュニティプラザ 展示場
さくらんぼ東根	奥羽本線	1999. 12	図書館 観光案内 情報サービス 物産展示
村 山	奥羽本線	1999. 12	市民ホール 企画展示ギャラリー 観光案内
大 石	田奥羽本線	1999. 12	店舗(そば屋) 企画展示ギャラリー
新 庄	奥羽本線	1999. 12	映画館 体験館 コミュニティホール レストラン 会議室
摺 沢	大船渡線	2000. 3	多目的ホール
大 釜	田沢湖線	2000. 3	集会所
羽 後	岩谷羽越本線	2000. 3	コミュニティホール 事務室
飯 倉	総武本線	2000. 12	コミュニティ施設
仁 賀	保羽越本線	2001. 6	多目的ホール 観光センター
北 常	磐奥羽本線	2001. 12	コミュニティホール 展示室
寒 河	江左沢線	2002. 2	展望コーナー
左 沢	左沢線	2002. 2	交流センター
七 日	町只見線	2002. 7	店舗(喫茶店) 物産コーナー
南 三	原内房線	2003. 2	多目的ホール 旅客トイレ
和 田	奥羽本線	2003. 2	ふれあい交流室 観光情報ホール 売店
古 里	青梅線	2003. 2	コミュニティセンター
羽 後	境奥羽本線	2004. 2	公衆トイレ
森 宮	野原飯山線	2004. 3	交流室 展示室
金 ヶ	崎東北本線	2005. 2	観光情報ホール 農協 売店
滑 河	成田線	2005. 2	多目的ホール
八 街	総武本線	2005. 3	コミュニティスペース
西 若	松只見線	2005. 11	展示ホール
奥 多	摩青梅線	2006. 4	ギャラリー 店舗(そば屋)
前 沢	東北本線	2006. 5	店舗(喫茶店)
千 倉	内房線	2007. 8	観光案内所 待合室 会議室
遊 佐	羽越本線	2008. 2	複合交通センター 観光案内所 多目的交流研修室
神 宮	寺奥羽本線	2008. 7	交流センター
羽 後	長野田沢湖線	2009. 3	市民交流センター 旅客通路 旅客多機能トイレ
浪 岡	奥羽本線	2010. 3	地域交流センター 多目的ホール
佐 原	成田線	2011. 3	観光交流センター 旅客トイレ
常 陸	太田水郡線	2011. 7	観光案内所 旅客トイレ 待合所

## 駅名改称一覧

(2012年3月31日現在)

期日	線名	旧駅名	新駅名	記事
1988. 3. 13	花輪線	二枚橋	花巻空港	
		岩手松尾	松尾八幡平	
		龍ヶ森	安比高原	
1990. 3. 10	総武本線	仙山線	面白山高原	
		越中島	越中島貨物	貨物駅
1990. 12. 1	日光線	下野大沢 (しもずけおおさわ)	下野大沢 (しもつけおおさわ)	
		下野花岡 (しもづけはなおか)	下野花岡 (しもつけはなおか)	
1991. 3. 16	奥羽本線	糠ノ目	高畠	
		大鰐	大鰐温泉	
1991. 6. 20	津軽線	三阪 (みつまや)	三阪 (みんまや)	
		陸中大石	ゆだ錦秋湖	
1991. 6. 20	北上線	陸中川尻	ほっとゆだ	
		岩手湯田	ゆだ高原	

期日	線名	旧駅名	新駅名	記事
1991. 12. 1	吾妻線	長野原	長野原草津口	
		川原湯	川原湯温泉	
1992. 3. 14	京葉線	千葉港	千葉みなと	
1992. 7. 1	奥羽本線	上ノ山	かみのやま温泉	
		北上ノ山	茂吉記念館前	
1993. 4. 1	中央本線	石和	石和温泉	
		勝沼	勝沼ぶどう郷	
		初鹿野	甲斐大和	
		別荘	春日居町	
1994. 3. 12	鹿島線	北鹿島	鯉ヶ崎スタジアム	
1994. 12. 3	常磐線	平	いわき	
		浪板	浪板海岸	
1995. 12. 1	花輪線	陸中花輪	鹿角花輪	
1997. 3. 22	気仙沼線	湯瀬	湯瀬温泉	
		大谷	大谷海岸	

期日	線名	旧駅名	新駅名	記事
1997. 3. 22	陸羽東線	上岩出山	西大崎	
		西岩出山	上野目	
		川渡	川渡温泉	
		東鳴子	鳴子御殿湯	
		鳴子	鳴子温泉	
1999. 12. 4	奥羽本線	中山平	中山平温泉	
		磐沢	さくらんぼ東根	
	陸羽東線	橋岡	村山	
		羽前向町	最上	
2000. 12. 2	五能線	陸奥黒崎	白神岳登山口	
2002. 12. 1	八戸線	種差	種差海岸	
2004. 3. 13	常磐線	川尻	十王	

## 新駅の新設置

### 新駅設置の状況

(2012年3月31日現在)

年度	駅名	駅数
1987	古淵、青山	2
1988	玉戸、大和、遠環、東照宮、美里、新木場、葛西臨海公園、舞浜、新浦安、市川塩浜、二俣新町、北上尾	12
1989	万石浦、くろこま高原、八丁堀、越中島、潮見	5
1990	ガーラ湯沢、葛岡、さつき野、成田空港	4
1991	小野上温泉	1
1992	空港第2ビル	1
1995	井川さくら、有備館	2

年度	駅名	駅数
1997	八王子みなみ野、今井、佐久平、あきた白神、安中藤名、軽井沢、上田、上越国際スキー場前、ひたち野うしく、紫波中央、栗山戸	11
1998	前橋大島	1
1999	あおほ通	1
2000	さいたま新都心	1
2001	国府多賀城、岩城みなと、ウェスバ橋山	3
2002	いわて沼宮内、二戸	2

年度	駅名	駅数
2003	本庄早稲田、小籠新田	2
2004	高崎問屋町、内野西が丘	2
2006	東北福祉大前、太子堂、平田	3
2007	越谷レイクタウン	1
2008	西府、西大宮	2
2010	七戸十和田	1
2011	吉川美南	1

## 営業諸元

### みどりの窓口設置駅数の推移

(2012年3月31日現在)

年度	1987	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
駅数	417	550	590	629	662	701	720	730	731	733	737	742

年度	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
駅数	742	737	738	737	732	728	694	693	677	671	608

### 発売機設置台数

(2012年3月31日現在)

	駅数	台数
自動券売機	1,043	3,111
指定席券売機	450	1,075
多機能券売機	263	650

### さまざまな自動券売機類



### 旅客運賃改定の変遷

運賃改定日	改定率(%)	記事	最低運賃(円)
1966. 3. 5	32.3		20
1968. 4. 1	5.4	定期運賃のみ改定	20
1969. 5. 10	15.9		30
1974. 10. 1	23.2		30
1976. 11. 6	50.4		60
1978. 7. 8	16.4	料金のみ改定(1978.10) 通学定期割引率修正(1979.1)	80
1979. 5. 20	8.8		100
1980. 4. 20	4.5		100
1981. 4. 20	9.7	通学定期割引率修正(1981.7)	110
1982. 4. 20	6.1	通学定期割引率修正(1982.9)	120
1984. 4. 20	8.2		130(120)
1985. 4. 20	4.4	通学定期割引率修正(1985.9)	140(120)
1986. 9. 1	4.8		140(120)
1989. 4. 1	2.9	消費税導入にともなう運賃・料金改定	140(120)
1997. 4. 1	1.9	消費税率変更にともなう運賃・料金改定	140(130)

注:最低運賃欄の( )内は、電車特定区間の運賃です。

### 料金改定の変遷(主なもの)

お客さまにわかりやすく、利用しやすい料金体系に改定することで、通勤・通学を含め気軽に特急列車やグリーン車をご利用いただけるようにしました。

料金改定日	改定内容	料金額
2001. 12. 1	首都圏のB特急料金を改定	自由席(50キロまで) 500円 指定席(50キロまで) 1,010円
2002. 12. 1	東日本管内のB特急料金を改定	自由席(50キロまで) 500円 (100キロまで) 900円 (150キロまで) 1,300円 指定席(50キロまで) 1,010円 (100キロまで) 1,410円 (150キロまで) 1,810円
		東日本管内の特急・急行のグリーン料金(A)を改定
2004. 10. 16	首都圏の普通列車に特定のグリーン料金(B)を設定	平日料金 事前料金(50キロまで) 750円 (51キロ以上) 950円 車内料金(50キロまで) 1,000円 (51キロ以上) 1,200円
		ホリデー料金 事前料金(50キロまで) 550円 (51キロ以上) 750円 車内料金(50キロまで) 800円 (51キロ以上) 1,000円
2005. 12. 10	成田エクスプレスのグリーン料金を改定	(200キロまで) 2,000円
	成田エクスプレス、スーパービュー踊り子の個室・グリーン料金を改定	1室あたり 6,000円 ※不足人員分は小児運賃・特急料金を受取しない
2010. 12. 4	東日本管内の特急・急行のグリーン料金(A)を改定	(400キロまで) 4,000円 (500キロまで) 4,000円 (600キロまで) 4,000円 (700キロまで) 4,000円 (701キロ以上) 5,000円
	グランクラス料金を設定	(100キロまで) 6,000円 (200キロまで) 7,000円 (300キロまで) 8,000円 (400キロまで) 9,000円 (500キロまで) 9,000円 (600キロまで) 9,000円 (700キロまで) 9,000円 (701キロ以上) 10,000円
2012. 3. 17	「なすの」のグランクラス料金を設定	(100キロまで) 4,000円 (200キロまで) 5,000円 (300キロまで) 6,000円 (400キロまで) 7,000円 (500キロまで) 7,000円 (600キロまで) 7,000円 (700キロまで) 7,000円 (701キロ以上) 8,000円

## インターネットサービスポータルサイト「えきねっと」

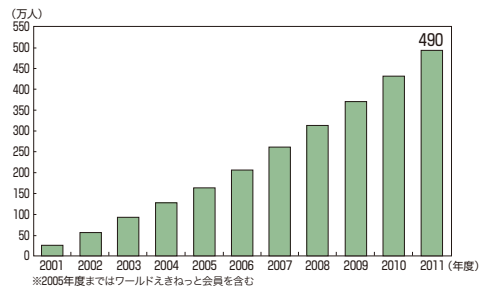
「えきねっと」は、JR東日本のインターネットサービスポータルサイトで、(株)JR東日本ネットステーションが運営しています。「えきねっと会員」になることで、パソコンや携帯電話・スマートフォンからJR券申込サービスを利用できます。このサービスは、指定席、自由席に加え、乗車券も予約が可能で、きっぷの受取りは、申込み時に登録したクレジットカードと申込み時に付与される予約番号だけで可能です。指定席券売機を利用して受け取る場合「えきねっと割引」(※下記参照)が適用されます。2007年4月からは、えきねっと会員を対象としたインターネット予約限定の「えきねっとトクだ値」の発売を開始しました。リアルタイムで最新の情報をご案内できるインターネットのメリットを活かし、時期・区間・列車ごとのご利用状況に応じた柔軟な割引商品を提供しています。

2009年6月からは座席表からお好みの座席を選ぶことができるシートマップ予約サービスを導入、2010年3月からは成田エクスプレスの指定席特急券を受け取ることなくそのまま乗車できる「えきねっとチケットレスサービス」が始まりました。さらに、2012年3月には携帯電話版サービスで自由席の申込みが可能になるなどお客さまの利便性向上をはかっています。会員数は2012年5月に500万人を突破しました。



「えきねっと」ホームページ(2012年5月現在)

### ●えきねっと会員数の推移



## ●予約サービス

JR券申込サービス	
パソコンからのJR券申込	・全国の新幹線や特急列車等の指定席・自由席・乗車券が申込みできます。
携帯電話・スマートフォンからのJR券申込	・東北・秋田・山形・上越・長野・東海道・山陽の各新幹線と特急「あずさ」「かいじ」「ひたち」「成田エクスプレス」の指定席・自由席の申込みができます。
その他の予約サービス	
国内ツアー予約	・最短で出発の2日前まで、JR東日本が企画・実施する「びゅう国内ツアー」が予約できます。
JTB旅館・ホテル予約	・JTBが取り扱う全国の旅館・ホテルの宿泊予約ができます。
JAL・ANA国内航空券予約	・JAL・ANA国内線の航空券が空席照会から予約できます。予約した航空券はオンライン決済、チケットレスで利用できます。
駅レンタカー予約	・東日本・北海道エリアの駅レンタカーをクーポンレスで予約できます。

## ●案内サービス

案内サービス	
列車運行情報	・JR東日本管内の在来線および東北・秋田・山形・上越・長野新幹線の運転情報をお知らせします。
乗換・運賃案内	・出発地と目的地、出発日時もしくは到着日時の入力から列車や航空機を利用した乗換情報と運賃・料金をご案内します。また、えきねっと、モバイルSuica特急券を利用した場合のおトクな運賃・料金もご案内します。
JR東日本 駅の時刻表	・路線や駅名で検索したJR東日本管内の各駅の時刻表をご案内します。
おトくなきっぷ	・JR東日本で取り扱っているおトくなきっぷをご希望の検索条件から調べることができます。
旅どきnet	・季節感あふれる東日本エリアの旅情報をはじめ、各種キャンペーンやイベント、旅行プランなどをご紹介します。
JR東日本の各駅情報	・JR東日本管内の主な駅の構内図やバリアフリー設備等の設置情報、駅ビルなどの店舗や駅での各種サービスの情報をご案内します。

## ●「えきねっと」のおトくなサービス

### ●「えきねっとポイント」



「JR券申込」「レンタカー予約」「えきねっとショッピング」「えきねっとポイントモール」のご利用で「びゅう商品券」、「Suicaカード」などの商品や「Suicaポイント」「ビューサンクスポイント」などと交換できる「えきねっとポイント」がたまります。

※詳しくは「www.eki-net.com」をご覧ください。

### ●「えきねっと割引」



「えきねっと」でJR東日本の新幹線(東北・秋田・山形・上越・長野の各新幹線)の指定席を申込み、JR東日本の主な駅に設置してある指定席券売機で受け取ると100円～700円割引となるサービスです。

※東海道・山陽・九州新幹線およびその他の特急列車等には適用されません。「えきねっとトクだ値」ご利用の場合は、適用されません。

## 販売戦略

### ●主な企画商品一覧

設定区間	主な企画商品
首都圏～東北地方間	ウィークエンドバス、庄内・東京フリー乗車券、東京週末フリー乗車券、新幹線回数券
首都圏～上信越間	ウィークエンドバス、新幹線回数券、あずさ回数券
首都圏～北陸間	北陸フリーきっぷ、北陸回数券

(2012年6月1日現在)

設定区間	主な企画商品
首都圏近郊	休日おでかけバス、都区内・りんかいフリーきっぷ、都区内フリーきっぷ、都区内バス、東京フリーきっぷ、ひたち往復きっぷ、ひたち回数券、南伊豆フリー乗車券
東北各地間	小さな旅ホリデー・バス、東北ローカル線バス
その他季節限定	大人の休日倶楽部バス

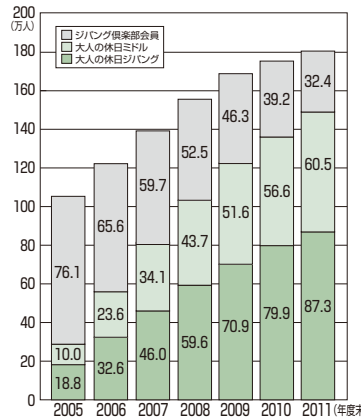


## ● 「大人の休日倶楽部」「JR東日本ジパング倶楽部」

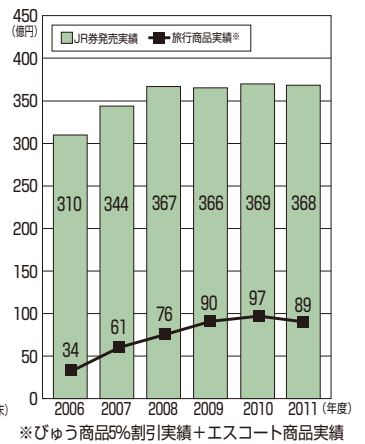
### ● 「大人の休日倶楽部」「JR東日本ジパング倶楽部」のあゆみ

1985年 5月10日	ジパング倶楽部事務局設立
1988年 9月 1日	ジパング倶楽部6社に分割。各会社ごとに事務局を設置し、会員管理業務を開始
1994年 4月 1日	「ビュー・ジパング倶楽部カード」の会員募集開始
1994年 8月20日	JR東日本独自の会員誌「ジパング旅仲間」を発行
2001年 7月13日	新ブランド商品「大人の休日」スタート
2002年 3月 1日	「大人の休日」専用ホームページ開設
2005年 6月 1日	「大人の休日倶楽部ジパング」スタート
2005年10月 1日	「大人の休日倶楽部ミドル」スタート
2006年 6月 1日	「大人の休日倶楽部」割引エリアをJR北海道線まで拡大
2007年 6月 1日	「大人の休日サロン」開設
2008年 4月 1日	「大人の休日倶楽部プレミアムサービス」スタート
2009年 2月13日	「大人の休日倶楽部」会員100万人突破
2012年 3月 2日	「大人の休日倶楽部メールマガジン」スタート

### ● 会員数の推移



### ● 商品発売実績の推移



## ● 「ルール&レンタカーきっぷ」

2010年10月より、駅レンタカーのインターネット予約をサービス開始しました。インターネットで予約すると、①駅レンタカーの料金が窓口予約よりも500円割引(24時間ごと)に、②代金お支払い前なら何度でも駅レンタカーの予約変更が可能に、③車名が選択可能になり、駅レンタカーのご利用がますます便利でおトクになりました。またあわせて、これまで複数あった駅レンタカーの料金体系も24時間制に統一し、よりわかりやすい料金体系に変更しています。

クラス	時間	料金
・Kクラス(軽自動車)	24時間	6,400円
・Sクラス(フィット、ヴィッツなど)	24時間	7,200円
・Aクラス(カローラなど)	24時間	9,000円
・Bクラス(シルフィなど)	24時間	11,500円
・MVクラス(ウィッシュなど)	24時間	11,500円
・WAクラス(ステップワゴンなど)	24時間	16,500円

※インターネットで予約すると上記料金から500円割引(24時間ごと)になります。

### ● 「ルール&レンタカーきっぷ」のあゆみ

年月	内容
1995年 4月	SDクラス発売開始(1500cc・1日乗り放題6,800円(税別))
1996年 4月	SWクラス発売開始(ワンボックスワゴン車・1日乗り放題12,000円(税別))
1997年 4月	SSクラス発売開始(1000cc~1300cc・1日乗り放題5,500円(税別))
1998年 7月	SBクラス発売開始(1800cc・1日乗り放題8,500円(税別))
1999年 6月	SKクラス発売開始(軽自動車クラス・1日乗り放題4,500円(税別))
2003年 4月	駅レンタカー料金改定(一部クラスを除き時間制料金の値下げ) 時間制のM-Vクラス(ミニバン)新設 カーナビ料金の値下げ(1日1,000円→1レンタル300円)
2003年 10月	カーナビ標準装備と無料化、時間制のSAクラス廃止
2004年 4月	SMクラス発売開始(ミニバン車・1日乗り放題8,920円(税込))
2006年 3月	時間制のRVクラス廃止
2007年 4月	各クラス禁煙車発売開始
2008年 4月	時間制のHDクラス廃止
2009年 4月	ETC車載器全車標準装備
2010年 10月	インターネット予約開始 [インターネット予約の場合、窓口予約より500円割引(24時間ごと)] 料金体系を24時間制・免責補償料込に統一 (車種を、K・S・A・B・MV・WAクラスの6車種に)

### ● 台数実績(ジェイアール東日本レンタリース(株)管内)

年度	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
ルール&レンタカー利用件数	74,199	97,817	121,182	133,246	138,853	142,400	147,617	142,841	149,343

年度	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
ルール&レンタカー利用件数	140,257	144,651	148,343	146,974	134,500	115,666	107,060	103,361

## ● パーク&ライドの推進

パーク&ライドは、駅に駐車場を設置し、自宅や会社から駅までは自動車、その先は列車を利用していただくことにより鉄道利用の促進をはかる施策です。特に、飛行機や高速バスといったほかの輸送機関と競合している線区では、お客さま獲得の有効な手段であり、今後も一層の充実をはかっていきます。

## ● 観光開発の推進

観光開発は、地域と連携した観光資源の発掘や受入体制の整備を通じて、鉄道利用の促進をはかる施策です。具体的には、地元とタイアップし、集中宣伝・集中送客する「デスティネーションキャンペーン」「重点販売地域」の実施、列車の旅の楽しさを提案する「リゾートトレイン」の運行、駅を起点に地元の各所を見ながら気軽にウォーキングを楽しんでいただくイベント「駅からハイキング」、地元の人が考え、ご案内する旅行商品「旅市」などがあります。

また、「トランヴェール」「小さな旅」など宣伝物による観光情報発信を行い、お客さまへの情報提供と旅行需要喚起に努めています。

### ● 駅数と駐車台数

(2012年3月31日現在) 注1:当社が直接整備したもの、グループ会社が運営しているもの、および自治体等との連携で運営している駐車場をまとめたものです。注2:山形・秋田新幹線の在来線の駅については新幹線駅に計上しています。

	駅数	台数(千台)
新幹線駅	28	6
在来線駅	62	4
合計	90	10

### ● 主なリゾートトレイン

列車名	運転区間	乗車人員(2011年度)
リゾートしらかみ(1997.4~)	秋田~青森・弘前	約 16.8万人
SLばんえつ物語(1999.4~)	新潟~会津若松	約 1.2万人
きらきらえつ(2001.11~)	新潟~酒田・象潟	約 2.5万人
リゾートみのり(2008.10~)	仙台・小牛田~新庄	約 1.5万人
リゾートビューふるさと(2010.10~)	長野・松本~南小谷	約 2.2万人
リゾートあすなろ(2010.12~)	新青森~蟹田・大湊	約 3.7万人

### ● 駅からハイキング

2011年度は626コースを実施。約20万人のお客さまにご参加いただきました。

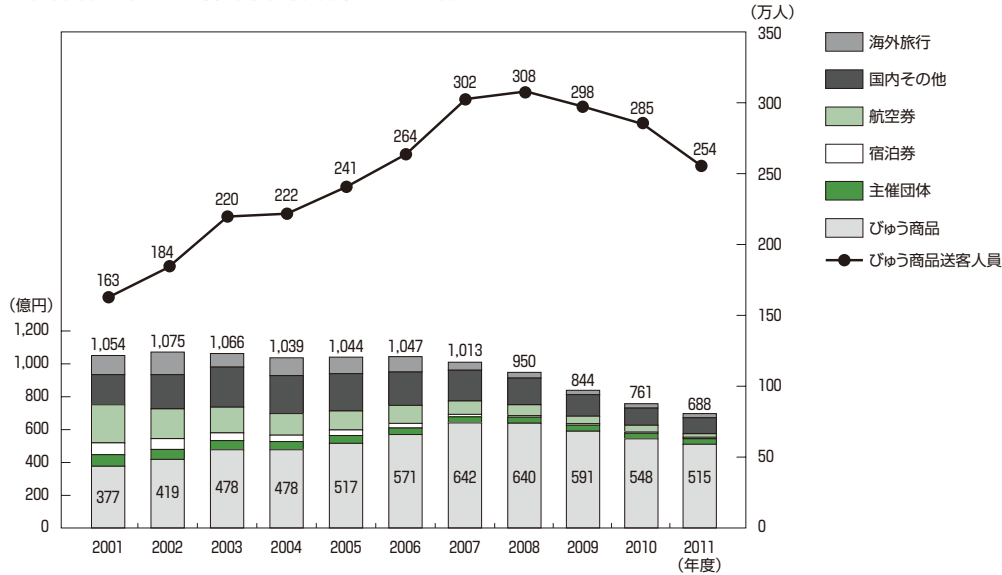
## 旅行商品

当社の旅行商品販売は、鉄道ネットワークや地域観光開発を活かした当社ならではの個人パック旅行「びゅう」商品を中心に展開しています。当社では「びゅう」商品の販売を通じて、鉄道の利用促進、観光流動の活性化をはかり、

地域の活性化に取り組んでいます。

また首都圏を中心に新しい「びゅうプラザ」を展開するなど、販売体制の改善に努め、お客さまへのサービス向上に取り組んでいます。

### びゅう商品販売と旅行商品収入の推移



### 2011年度びゅう商品方面別送客人員



### びゅう商品販売チャネルの拡大

展開時期		施策
2004年	9月	電話予約でのクーポン宅配サービス開始
	10月	インターネットでのパンフレット閲覧サービス「digi-view」開始
2005年	4月	旅行会社によるびゅう商品予約の新システム「びゅうWeb」稼働開始
	5月	クーポンを出発当日に駅で受け取るサービス「間際deびゅう」開始
2006年	12月	インターネットによる全びゅう商品予約対応サービス「メールオーダー予約」開始
2007年	4月	新しい「びゅうプラザ」の展開を開始
2008年	4月	びゅう予約センター東京の拡張による通信販売の受付体制強化
		インターネット予約におけるユーザビリティの向上(商品詳細ページ・検索機能の追加)
2011年	5月	びゅう予約センター東京と大人の休日予約センターの運営統合((株)びゅうトラベルサービス)

### びゅうプラザの店舗数推移

年度	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
箇所数	132	137	150	153	149	154	161	165	163	165	169	171	162	159	155	154	147	146	146	142	134	135	135	136	136

※年度末時点での箇所数

### 新しい「びゅうプラザ」の展開

2007年4月から「旅行カウンター」と「みどりの窓口」が一体となった新しい「びゅうプラザ」を、首都圏を中心に展開しています。

ゆっくりとご旅行の相談をされたいお客さまや、ビジネス利用でお急ぎのお客さまなど、さまざまなニーズにお応えすることで、より安心・便利にご利用いただける販売体制の整備を進めています。

